

## 調査の基本

- (1) 劣化構造物の補修について検討する際には、事前に対象構造物についての現地踏査を実施します。

点検結果や過去の調査結果は、劣化メカニズムや補修について検討する際の重要な基礎資料であるが、現在とは時間差があるため、その間に劣化が大きく進行し、新たな劣化が発生している可能性も考えられます。劣化メカニズムや補修の検討を行うため、事前に必ず現地踏査を行って対象構造物の現況を確認する必要があります。

- (2) 現地踏査では、補修を検討する部材や箇所について、劣化の程度や範囲が既存の点検資料等と相違ないかどうか確認します。また、劣化箇所や周囲を観察して劣化メカニズムを確認するための情報も合わせて収集します。

現地踏査は、現地ですできるだけ対象構造物に接近して観察し、現在の劣化状況が既存資料に示されている状況と大きな変化がないかどうかを確認します。また外観変状の特徴や発生パターンなどをよく観察し、劣化メカニズムを判定するための情報を収集します。